



まなびあい みとめあい とものにのびよう さつきっ子



地域防災訓練

～流しそうめん～

学校長 秋山 順子

台風15号による臨時休校、TVのニュースでは連日千葉県の被害状況が報道されています。災害が起きた時どうすればよいのか。災害は地震だけではありません。最近の台風や大雨等は、昔では想定できない規模で襲ってきます。常日頃から防災の意識や備え、起きた時にとる行動について訓練を通して学んでいくことが大切と感じています。とは言え、地域防災訓練なるものをなかなかイメージしていただけないのか、保護者や子どもたちの参加者が少ない状況です。今年は「まずは来てよ!!」というコンセプトのもと、参加者に対するスペシャルオファーを用意しました。

～流しそうめん～

親子で防災を学び、親子で流しそうめんを楽しむ。

毎年、機材の点検も兼ねた炊き出し訓練を行ってききましたが、今年はおやじの会が中心となっており流しそうめんとのコラボです。お陰様で盛況裏に終わることができました。皆さまのご協力に感謝申し上げます。

「参加者数は例年と変わりませんでした。親子での参加者が多く、子どもたちがいるお陰で活気があり和やかに実施することができました。」と、自治会関係者の方の感想でした。「流しそうめんがあるから行きたい。」というきっかけは何であれ、結果的に地域防災訓練に参加し、「思ったより備蓄がたくさんあった。家でも備えようと思った。段ボールベッドがすごかった。」と、子どもたちも参加したからこそ気付けたことがたくさんあったようです。

訓練の重要性自体を問題にして「参加してください。」と直接投げかけるのではなく、時には何らかの行動を促し、その結果参加する。しかも楽しい活動も体験できるとは一石二鳥です。実際の災害では不慮の事態となるかもしれません。子どもも自分の命は自分で守るということを、避難訓練で学習していますが、あらゆるシチュエーションを想定し、備えておくことも重要です。そういう意味で、子どもたちが参加していたことは意義のあることだと思えます。

今、さつき小は10月19日の運動会に向け、全校を挙げて取り組んでいます。一生懸命活動する子どもたちの姿をご覧いただければ幸いです。